

平成 19 年度 第 2 回 男女共同参画懇話会 議事録

日 時	平成 19 年 10 月 24 日 (水) 午後 2 時 00 分 ~ 午後 3 時 50 分
場 所	市役所 東館 3 階 会議室 10
出席委員	古賀、山本、石川、加藤、具、鈴木、都築、宮崎、三和、米正、渡邊
欠席委員	魚住
事務局	市民部長、市民協働課長、市民協働課長補佐、樋口、野口

1. あいさつ

市民部長・会長古賀委員よりあいさつ。

2. 議題

(1) 部会報告

推進部会 米正部会長より報告

- ・広報誌「シェイクハンド」の発行について
懇話会の広報ではなく、男女共同参画の広報であるということ一致。
- ・あいち国際女性映画祭について
推進部会としては継続したいという結論。最終的な判断は市長に委ねる。
- ・川柳・標語募集について
継続してやっていきたい。

事務局より報告

- ・「シェイクハンド」の名前を正しい英語「シェイクハンズ」に変更するかどうか検討中。
最終的にどちらにするかは懇話会に委ねたい。
- ・映画祭については市長判断が出ており、来年度は開催しないということ決定した。
- ・川柳・標語募集実施について、「とよあけGEプロジェクト」の立ち上げという手法で可能性を探っている。詳細については、後の事務局報告で説明する。

意見交換（「シェイクハンド」のタイトルについて）

- ・「シェイクハンド」で定着しているので変える必要ないのではないか。
- ・英語表記を小さく入れて、そこにSを付けたらどうか。
- ・カタカナだからそのままよいのではないか。
- ・市民から一件、タイトルは間違った英語ではないかという指摘があった。
- ・小学生でも英語を習う時代であり、間違った英語と知りながら、市の広報誌として出していくのはどうか。
- ・「シェイクハンズ」は正しい表現なのか。
- ・市民が分かりやすい表現にするためにこのタイトルにしたという経緯がある。

- ・造語であるということで、懇話会としてしっかりとした理論を持っておけばいいのでは。変える必要はない。

決定事項

- ・推進部会で正しい英語表現について調査し、変更の必要があるかどうかを検討したうえで、タイトルを決定するという合意。

評価部会 三和部会長より報告

- ・評価体制について
評価委員会は立ち上げ不可能。評価は懇話会でやることを部会では承認した。

事務局より説明

- ・事業評価を毎年行い、施策評価は4年に一度実施。
- ・評価シート「平成19年度事業実施報告兼平成20年度事業計画書」について説明。
- ・評価の手順としては、各課が事業評価を実施 事務局がとりまとめる 懇話会がチェック・評価 懇話会が意見書作成・提出（足りない部分の指摘、効果的な手段の提案等）

(2) 事務局報告

平成19年度男女共同参画推進事業中間報告（市民協働課分）

- ・別紙「中間報告について」にそって、今年度の市民協働課の事業について説明。ここに記載されていないもので、ドメスティックバイオレンスに関する事業も企画・検討中。
 - 高校生（大学生）向けデートDV企画
 - 相談員・相談者向けDV企画
 - 成人式でのDV企画

男女共同参画懇話会の事業等へのかかわり方について

- ・別添「議事録」にも記載のとおり、懇話会としての役割の明確化を図り、実動を実施するプロジェクトを立ち上げたい旨を説明。
- ・川柳・標語募集を実施する手法として、「とよあけGEプロジェクト」として組織をつくり、「あいちモリコ基金」への申請を考えている。別添「とよあけGEプロジェクト」について説明。申請の締め切りは10月31日。

意見交換

- ・標語もいいが、漫画の方が子どもや大人にも浸透し効果的ではないか。応募してもらえなかった人にも見てもらえると思う。絵を描けなくても、ストーリーのみでの応募も可とすれば、たくさん集まると思う。申請書類が厳しい場合、申請後に企画内容の変更は

可能なのか。

- ・漫画は、小学生・中学生だけでなく、高校生も参加してくれるかもしれない。その場合、高校生の参加賞も必要となり、予算が変わってくる。その辺りも申請後に修正可能か。
- ・上記2件も含め、書類の記載方法等については、電話で確認する。
- ・この10月に立ち上げということだが、これまでの活動実績はなくても大丈夫なのか。
- ・立ち上げてすぐの団体ということで申請上問題はないということを電話で確認している。ただ、それで申請が通るかどうかは分からないという状況。
- ・実際、実績のある団体もたくさん申請をしている。行政の予算がカットされたから、助成金申請という行政の姿勢に疑問を感じる。もし申請が通り、20年度に実施できたとしても、その次の年はどうなるのか。市でその分の予算確保ができるのか。懇話会として継続性のある仕事をやっていくことができないのは問題だ。
- ・平成20年度の実施を実現させ、効果的で継続が必要な事業であるということを市長に分かっていただくことが必要だ。そうすることによって事務局は予算確保に向けて努力してほしい。

決定事項

- ・「とよあけGEプロジェクト」として「あいちモリコロ基金」への申請を進める。